

紙鉛被ケーブルの特性

Characteristics of paper lead sheathed cable

導体裸線路の障害増加や、ケーブルの複線化の需要などに対応するために、1897年に紙鉛被ケーブルが導入された。紙鉛被ケーブルは架空ケーブルにも地下ケーブルにも利用されたが、亀裂が入りやすいとか浸水しやすいという本質的な限界があり厳しい自然環境の中では施設の増大に伴って障害が多発し、現場から新しいケーブルの出現が期待された。